三原市の文化財 正誤表

頁	該当箇所	誤	正
14	米山寺宝篋印塔 下から10行目	継ぎ目に奉籠穴	継ぎ目に奉籠孔
17	安楽寺山門 1行目	御成御門	浅野忠英の門
19	鐘撞堂 下から3行目	享保年間(1716-63)	享保年間(1716-36)
22	下津大幡神社 上から2行目	勘請され、その後	勸請され、その後
25	絹本著色小早川隆景像 下から11行目	像が束帯姿で	像が衣冠姿で
28	絹本著色 浦瀬氏像 下から3行目	掛幅装で縦33.6cm、横77.5cm	掛幅装で縦77.5cm、横33.6cm
30	紙本著色 浅野忠真像 上から3行目	画中に、「成壽院殿・・・	画中に、「正壽院殿・・・
36	紙本著色三原西町絵図 上から3行目	宝永6年(1710)	宝永6年(1709)
39		院派の阿弥陀如来坐像	院派の釈迦如来坐像
78	銅鐘 下から4行目	鑄之物也	鑄之者也
	左用寺の鰐口 下から14行目	お寺に奉納	「お寺に」を削除
95	紙本墨書医法大成之治法 名称	紙本墨書医法大成之治法	紙本墨書医方大成之治法
	下から3行目	首題に「医方大成之治方凡例	首題に「医方大成之治法凡例
97	紺紙金泥法華経加開結 下から2行目	享保12年(1737)に贈られた	享保12年(1727)に贈られた
101	三藤家(戸田家)文書 上から2行目 ルビ	幸長(ゆきなが)	幸長(よしなが)
102	糸碓神社文書 上から3行目	慶長元年(1600)に三原城を	慶長元年(1596)に三原城を
118	萩原市岡八幡神社の棟札 上から1行目	明治4年(1471)まで下ります。	明治4年(1871)まで下ります。
	上から2行目・3行目	灰原村	萩原村
120	古武士遺跡工房跡出土石器類 名称	古武士遺跡工房跡出土石器類	古武士遺跡工房跡出土石器類
	【右下 写真キャプション】 環状石斧	【右下 写真キャプション】 環状石斧	【右下 写真キャプション】 左:環状石斧 右:片刃石斧
123	幾野家住宅主屋 下から5行目	戸庁役場として	戸長役場として
130	久井町の節句どろ人形 下から6行目	七福人などの信仰	七福神などの信仰
138	羽倉の御講仏様 下から5行目	和草地区の法専寺が	和草地区の法泉寺が
144	御年代古墳 下から4行目	刳抜式の家型石棺が	刳抜式の家形石棺が
145	横見廃寺跡 下から3行目	忍冬唐草文軒丸瓦などに	忍冬蓮華文軒丸瓦などに
	【上 写真キャプション】 忍冬唐草文軒丸瓦	【上 写真キャプション】 忍冬唐草文軒丸瓦	【上 写真キャプション】 忍冬蓮華文軒丸瓦
	【下 写真キャプション】 単弁蓮華軒丸瓦	【下 写真キャプション】 単弁蓮華軒丸瓦	【下 写真キャプション】 素弁蓮華軒丸瓦
160	小早川隆景墓 下から2行目	この墓所の南東隅にある	この墓所の南西隅にある
163	安国寺谷宝篋印塔 名称ルビ	あんこくじこくほうきょういんどう	あんこくじだにほうきょういんどう
166	鶴ヶ嶋末造の墓 下から5行目	「頭取 嶋ヶ嶋末造墓」、左側	「頭取 鶴ヶ嶋末造墓」、左側
173	筋原の石畳 下から4行目	(県道54号線)	(県道25号線)
176	清水南山生誕の地 上から6行目	海野勝民	海野勝珉
182	下草井八幡神社のツガ		指定解除
190	椋梨のモミジ		指定解除
その他			
74 161	上から6行目	白雲恵暁 白雲慧暁	白雲恵暁 白雲慧暁はどちらも使われています